

# 妹背牛町簡易水道事業經營戰略

(計畫期間：平成29年度～平成43年度)



(妹背牛町遊水公園)

平成29年2月

妹背牛町建設課

## 妹背牛町簡易水道事業経営戦略 目次

1. 「経営戦略」策定の趣旨 .....	1
2. 妹背牛町簡易水道事業の概要 .....	1
(1) 妹背牛町の位置 .....	1
(2) 北空知広域水道企業団の現況 .....	1
(3) 妹背牛町簡易水道施設の概要 .....	3

## 妹背牛町簡易水道事業経営戦略

1. 事業概要 .....	4
(1) 事業の現況 .....	4
(2) これまでの主な経営健全化の取組 .....	5
(3) 経営比較分析表を活用した現状分析 .....	6
2. 将来の事業環境 .....	8
(1) 給水人口の予測 .....	8
(2) 水需要の予測 .....	8
(3) 料金収入の見通し .....	9
(4) 施設の見通し .....	9
(5) 組織の見通し .....	10
3. 経営の基本方針 .....	10
4. 投資・財政計画 .....	11
(1) 投資・財政計画（収支計画）：別紙の通り .....	11
(2) 投資・財政計画（収支計画）の策定に当たっての説明 .....	11
(3) 投資・財政計画（収支計画）に未反映の取組や 今後検討予定の取組の概要 .....	12
5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項 .....	13
別紙：投資・財政計画（収支計画） .....	14



当企業団では、水源である沼田ダムが完成した平成4（1992）年から本格供給を開始しており、平成10（1998）年に構成団体水量配分見直しのための協定を締結している。北空知広域水道企業団の概要および各構成団体への送水実績は表1-1、図1-2に示すとおりとなっている。

表 1-1 北空知広域水道企業団の概要

事業主体名	最近認可年月日	計画一日最大給水量(m <sup>3</sup> )	受水団体別計画一日給水量(m <sup>3</sup> )		原水の種別	貯水施設名	専任職員数(人)	浄水方法	現在施設能力(m <sup>3</sup> /日)	実績年間取水量(千m <sup>3</sup> )	実績年間浄水量(千m <sup>3</sup> )
北空知広域水道企業団	S59.12.14	22,000	深川市	13,333	表流水	沼田ダム		9急速ろ過	22,000	3,748	3,538
沼田町	3,850										
秩父別町	1,333										
北竜町	1,300										
妹背牛町	2,184										

実績年間給水量(千m <sup>3</sup> )	内訳(千m <sup>3</sup> )			実績一日最大給水量(m <sup>3</sup> )	管路延長(m)	管路別延長(m)		管種別延長(m)		
	有収水量	有効無収水量	損失量			導水管	送水管	ダクタイル 铸铁管	鋼管	その他
3,446	3,440	6	0	10,810	43,324	13,958	29,366	42,158	1,166	0

北空知広域水道企業団送水実績(10年間)

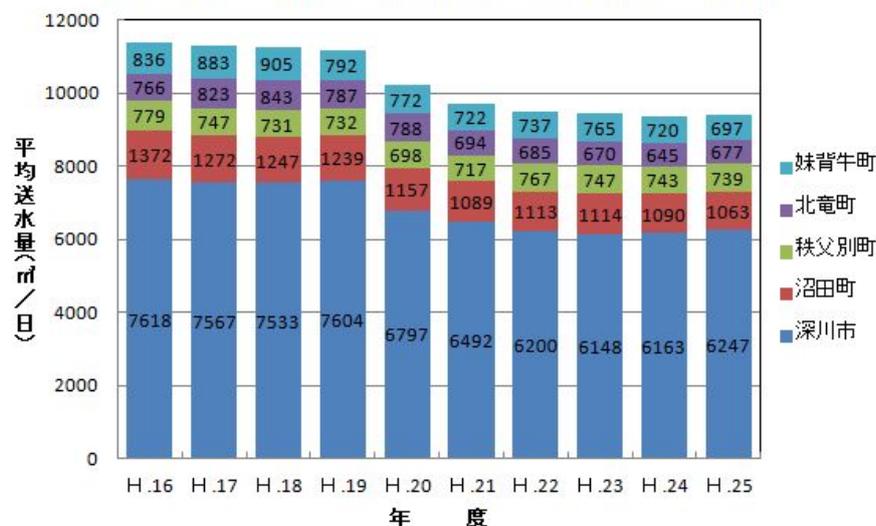


図 1-2 過去 10 年間の 1 日平均送水量の推移

(北空知広域水道企業団ホームページより作成)

### (3) 妹背牛町簡易水道施設の概要

妹背牛町簡易水道事業は、北空知広域水道企業団より用水供給を受けており、その概要と主要施設は表1-2、図1-3のとおりである。

表 1-2 妹背牛町簡易水道事業の概要

事業者名	最近認可年月日	計画給水人口(人)	給水区域内現在人口(人)	現在給水人口(人)	計画一日最大給水量(m <sup>3</sup> /日)	取水箇所(実績)	原水の種別	浄水方法	配水方式
妹背牛町	H12.2.28	4,500	3,304	2,780	2,184	1	受	—	自

実績一日最大給水量(m <sup>3</sup> )	実績1人1日最大給水量(ℓ/人・日)	実績年間給水量(m <sup>3</sup> /年)	実績年間有収水量(m <sup>3</sup> /年)	有収率(%)	職員数(人)	技術管理者	
						有資格者数(人)	専兼任等の別
891	321	246,133	224,932	91.4	1	1	併

(統計資料「北海道の水道」より作成)

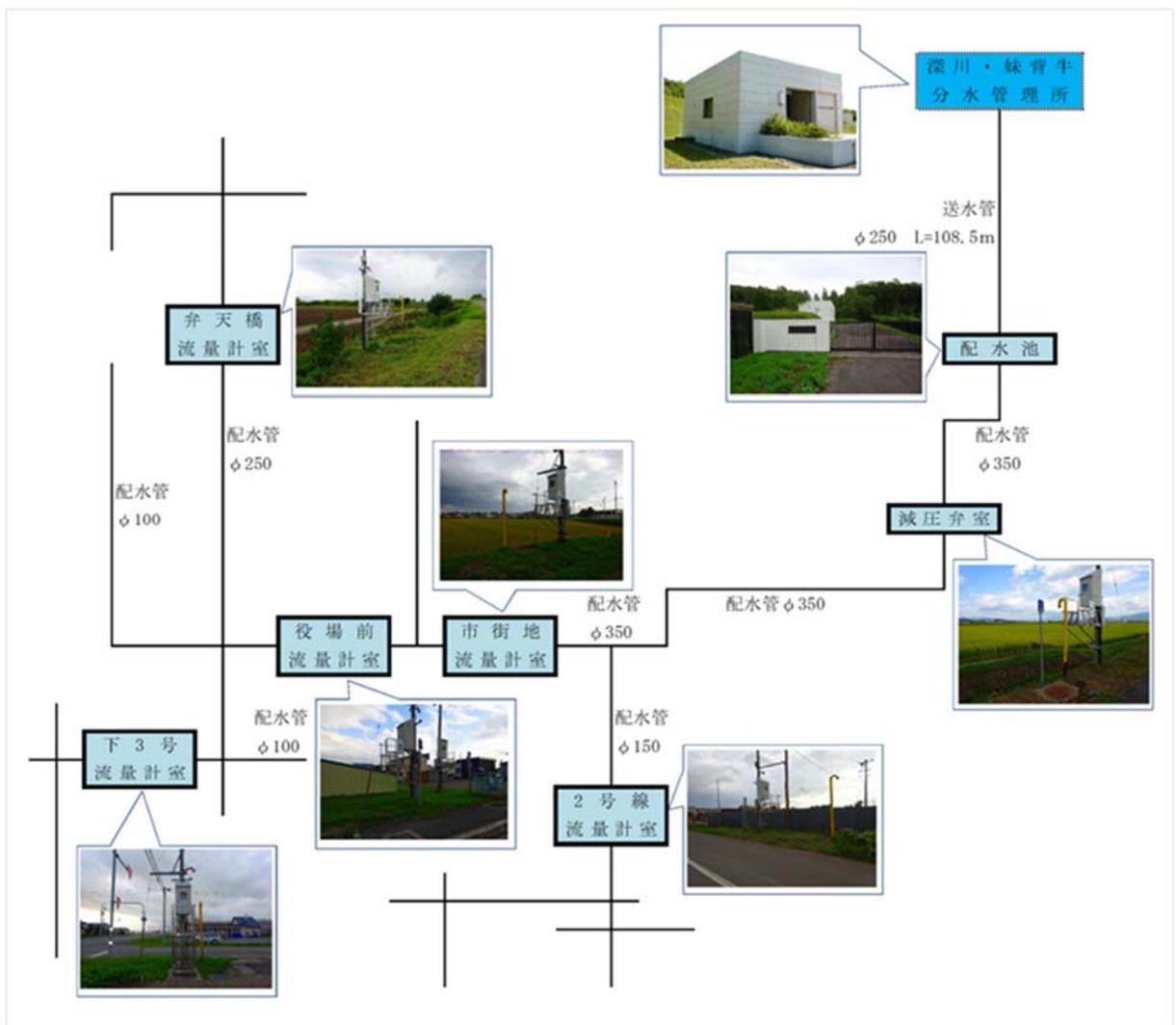


図 1-3 妹背牛町水道施設の主要施設

## 妹背牛町簡易水道事業経営戦略

団 体 名： 妹 背 牛 町

事 業 名： 妹背牛町簡易水道事業

策 定 日： 平成 29 年 2 月

計 画 期 間： 平成 29 年度～平成 43 年度

### 1. 事業概要

#### (1) 事業の現況

##### ① 給水

供用開始年月日	昭和 60 年 4 月 1 日	計画給水人口	4,500 人
法適（全部・財務） ・非適の区分	法非適用	現在給水人口	3,161 人
		有収水量密度	0.047 千 m <sup>3</sup> /ha

##### ② 施設

水源	□表流水、□ダム、□伏流水、□地下水、 <input checked="" type="checkbox"/> 受水、□その他			
施設名	浄水場設置数	なし	管路延長	120 千 km
	配水池設置数	1		
施設能力	2,184 m <sup>3</sup> /日		施設利用率	30.59%

##### ③ 料金

料金体系の 概要・考え方	区 分	基本水料金(1か月につき)		超過料金 (1 m <sup>3</sup> につき)
		基本水量	基本料金	
	家事用	10 m <sup>3</sup>	2,894円	289円
	業務用	15 m <sup>3</sup>	5,281円	356円
	団体用	15 m <sup>3</sup>	8,931円	356円
	臨時用	10 m <sup>3</sup>	9,147円	926円
	会館用	3 m <sup>3</sup>	1,134円	289円
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	18 年 7 月 1 日			

##### ④ 組織

平成 28 年度現在、簡易水道事業については本町建設課の所掌となっています。建設課上下水道グループとしては、建設課長、主幹等を含む 4 名体制で簡易水道事業の他に農業集落排水事業、個別排水処理事業および特定地域生活排水処理事業について兼務しながら業務に従事しています。職員給与の予算措置としては、簡易水道事業特別会計でそのうち 1 名分を計上している状況です。

(2) これまでの主な経営健全化の取組

妹背牛町がこれまで取り組んできた経営健全化対策を整理すると、以下のとおりであります。

<p>①施設統合 ・広域化</p>	<p>妹背牛町は、開拓当初より農業を中心に隣接する雨竜川や地下水による水利用により発展してきました。生活用水は、井戸水利用が中心でした。 昭和 53 (1978) 年北空知広域水道企業団が深川市・沼田町・秩父別町・北竜町の 1 市 3 町によって設立されました。その後、昭和 56 (1981) 年に妹背牛町が加わり 1 市 4 町によって運営されており、昭和 59 (1984) 年より暫定給水が始まり今日に至っております。</p>																																
<p>②使用料金改定</p>	<p>本町の簡易水道事業創設からこれまでの料金改定の経緯は次のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="483 880 1331 1337"> <tr> <td>昭和 60 年 4 月</td> <td>2,800 円/10 m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成 元年 4 月</td> <td>2,800 円/10 m<sup>3</sup></td> <td>消費税 3%</td> <td>外税転嫁</td> </tr> <tr> <td>平成 3 年 4 月</td> <td>2,400 円/10 m<sup>3</sup></td> <td>高料金制度</td> <td>内税転嫁</td> </tr> <tr> <td>平成 9 年 4 月</td> <td>2,330 円/10 m<sup>3</sup></td> <td>消費税 5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成 13 年 7 月</td> <td>2,440 円/10 m<sup>3</sup></td> <td></td> <td>外税転嫁</td> </tr> <tr> <td>平成 16 年 4 月</td> <td>2,562 円/10 m<sup>3</sup></td> <td></td> <td>外税転嫁 総額表示</td> </tr> <tr> <td>平成 18 年 7 月</td> <td>2,814 円/10 m<sup>3</sup></td> <td></td> <td>外税転嫁 総額表示</td> </tr> <tr> <td>平成 26 年 4 月</td> <td>2,894 円/10 m<sup>3</sup></td> <td>消費税 8%</td> <td>外税転嫁 総額表示</td> </tr> </table>	昭和 60 年 4 月	2,800 円/10 m <sup>3</sup>			平成 元年 4 月	2,800 円/10 m <sup>3</sup>	消費税 3%	外税転嫁	平成 3 年 4 月	2,400 円/10 m <sup>3</sup>	高料金制度	内税転嫁	平成 9 年 4 月	2,330 円/10 m <sup>3</sup>	消費税 5%		平成 13 年 7 月	2,440 円/10 m <sup>3</sup>		外税転嫁	平成 16 年 4 月	2,562 円/10 m <sup>3</sup>		外税転嫁 総額表示	平成 18 年 7 月	2,814 円/10 m <sup>3</sup>		外税転嫁 総額表示	平成 26 年 4 月	2,894 円/10 m <sup>3</sup>	消費税 8%	外税転嫁 総額表示
昭和 60 年 4 月	2,800 円/10 m <sup>3</sup>																																
平成 元年 4 月	2,800 円/10 m <sup>3</sup>	消費税 3%	外税転嫁																														
平成 3 年 4 月	2,400 円/10 m <sup>3</sup>	高料金制度	内税転嫁																														
平成 9 年 4 月	2,330 円/10 m <sup>3</sup>	消費税 5%																															
平成 13 年 7 月	2,440 円/10 m <sup>3</sup>		外税転嫁																														
平成 16 年 4 月	2,562 円/10 m <sup>3</sup>		外税転嫁 総額表示																														
平成 18 年 7 月	2,814 円/10 m <sup>3</sup>		外税転嫁 総額表示																														
平成 26 年 4 月	2,894 円/10 m <sup>3</sup>	消費税 8%	外税転嫁 総額表示																														
<p>③組織編制および人員削減</p>	<p>本町簡易水道事業および農業集落排水事業等は、当初、水道課の所掌となっており、職員 7 名および臨時職員 1 名の計 8 名体制で対応していました。その後、平成 12 年度に水道課と建設課を統合し、建設課上下水道グループに編制されました。以降、年々人員削減を実施し、現在は建設課長、主幹等を含む兼務職員 4 名体制となっています。</p>																																
<p>④民間活用</p>	<p>本町簡易水道施設の維持管理および検針業務については既に民間委託しており、漏水調査業務等については現在直営で実施しております。更なる民間活用は今後の検討課題となっています。</p>																																
<p>⑤資産活用</p>	<p>本町簡易水道事業は、当初より広域水道企業団に加盟しており、水道に関わる余分な土地・施設は所有していません。また、平坦な地形であることからエネルギー利用についても検討していません。</p>																																

### (3) 経営比較分析表を活用した現状分析

平成26年度決算の本町簡易水道事業における「経営比較分析表」は、別紙のとおりとなっています。

これによると、経営の健全性を表す指標である①収益的収支比率は92.56%であり、類似団体(D3)平均値の全国平均値75.87%より高いという結果となっています。また、④企業債残高対給水収益比率は165.98%であり、類似団体(D3)の全国平均値1,125.69%よりも低いという結果となっている。更に、料金回収率等他の指標についても高い水準で推移していることから、本町の簡易水道事業は健全性を保っていると判断されます。

また、施設の老朽化・更新については、電気・計装設備は平成12～14年に更新済みであり、現在2度目の更新を実施しているところです。管路施設については更新時期に至っていないことから現在、管路更新率は0%となっています。

# 経営比較分析表

北海道 妹背牛町	業種名	事業名	類似団体区分	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
	業務適用	簡易水道事業	D3	3,241	48.64	66.63
	法非適用	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
	資金不足比率(%)	84.65	5,784	2,724	44.97	60.57
	自己資本構成比率(%)	該当数値なし				

**グラフ凡例**  
 ■ 当該団体値 (当該値)  
 - 類似団体平均値 (平均値)  
 【】 平成26年度全国平均

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

類似団体平均と比較すると高い水準にあるが、一般会計からの繰入金に依存している。近年、地方債残高も償還金のピークが過ぎ減少しているが、耐震化計画や計装設備の更新を先送りしているため、企業債残高が少額となっており、今後も管路更新計画も含め経営改善に向けた取り組みを行う。

### 2. 老朽化の状況について

計装設備については、平成28年度～平成30年度で実施予定としている。管路については、昭和60年に供用開始し、現在法定耐用年数40年を超え資産は無いが、平成37年頃より総年次資産が主としてくる。法定耐用年数の1.2倍で更新した場合、老朽化資産になる前に更新するため、老朽化資産は生じない。管路の耐用年数の延長、財源の確保も視野にいれ更新計画を作成する。

### 全体総括

今後5年間の推計では、地方債残高の減少により、一般会計からの繰入金金が100%分のみとなり、独立採算の経営が可能となる。更なる経営改善を図り、管路更新費用や耐震化費用の確保のため基金の積み立てを行っていく。

---

### 1. 経営の健全性・効率性

#### ①収益的収支比率(%)

【76.03】

年度	H22	H23	H24	H25	H26
当該値	76.62	75.89	74.52	76.09	75.87
平均値	75.87				

【単年度の収支】

#### ②累積欠損金比率(%)

該当数値なし

【累積欠損】

#### ③流動比率(%)

該当数値なし

【支払能力】

#### ④企業債残高対給水収支比率(%)

【1,239.32】

年度	H22	H23	H24	H25	H26
当該値	358.41	305.52	251.46	208.56	165.98
平均値	1,125.89				

【償還済高】

#### ⑤給水原価(円)

【476.46】

年度	H22	H23	H24	H25	H26
当該値	525.24	502.88	506.21	422.99	429.49
平均値	376.61				

【費用の効率性】

#### ⑥給水原価(円)

【476.46】

年度	H22	H23	H24	H25	H26
当該値	291.83	306.49	878.73	501.18	376.61
平均値	376.61				

【供給した配水量の効率性】

#### ⑦施設利用率(%)

【58.19】

年度	H22	H23	H24	H25	H26
当該値	33.77	35.34	33.23	30.88	30.41
平均値	57.55				

【施設の効率性】

#### ⑧有収率(%)

【75.39】

年度	H22	H23	H24	H25	H26
当該値	86.64	81.81	96.69	91.39	90.37
平均値	73.83				

【供給した配水量の効率性】

### 2. 老朽化の状況

#### ①有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

【施設全体の減価償却の状況】

#### ②管路更新率(%)

【0.74】

年度	H22	H23	H24	H25	H26
当該値	0.00	0.48	0.47	0.80	0.69
平均値	0.69				

【管路の更新投資の実施状況】

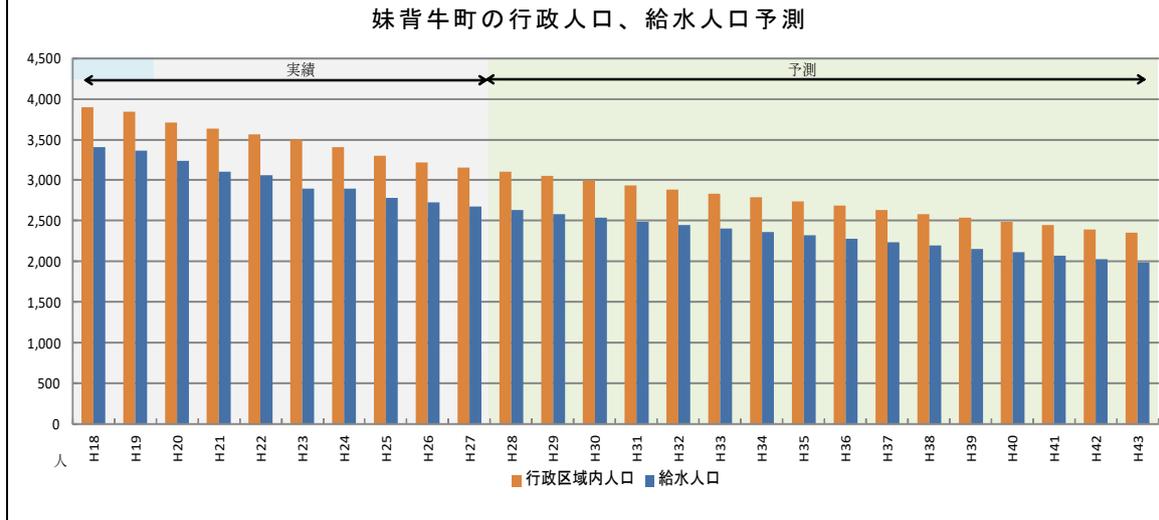
※ 平成22年度から平成26年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

## 2. 将来の事業環境

### (1) 給水人口の予測

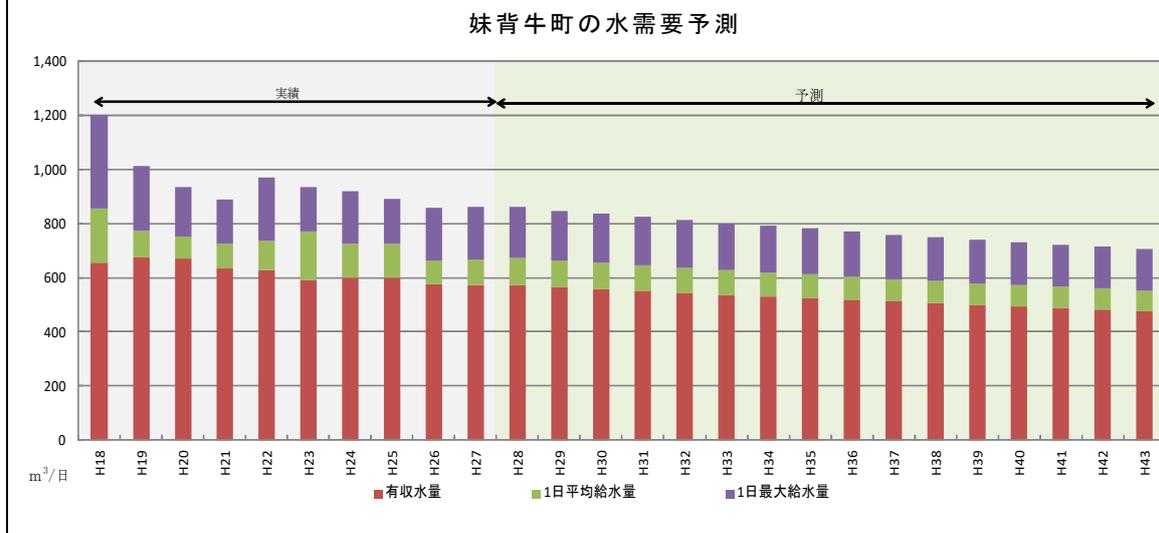
給水人口の予測は、過去の実績および妹背牛町人口ビジョンによる行政人口予測値を基に給水区域内人口を算出し、普及率を乗じて求めています。

妹背牛町における行政人口、給水人口の予測結果は下図に示す通りであり、人口の減少は将来も続くものと見込まれます。



### (2) 水需要の予測

水需要の予測は、家事用一人1日当たりの使用水量の見込みを給水人口に乗じて算出し、家事用外は傾向分析により求め、有収水量から計画有効率、計画負荷率を設定し1日平均給水量、計画1日最大給水量を求めています。水需要量は、給水人口の減少と同様に漸減していくものと見込まれます。

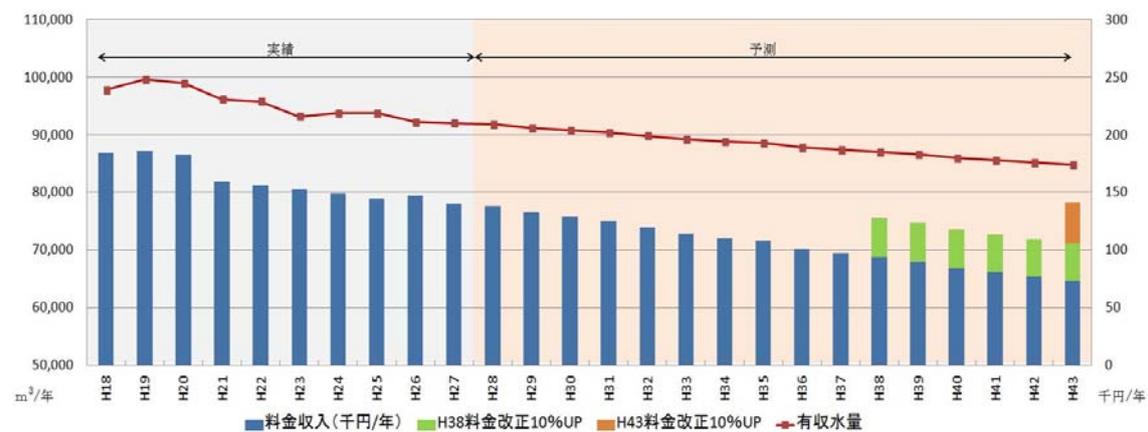


### (3) 料金収入の見通し

本町の料金体系は従量制となっており、(2) 水需要の予測で見られるように、人口減少に伴う給水人口の減少と水需要構造の変化により料金収入は漸減していくものと見込まれます。

従って、料金収入増加のため平成 38 年および平成 43 年に 10% の料金改定を見込んでいます。料金収入確保のためには、①積極的な定住促進による人口減少の歯止めと②料金改定・値上げが必要であり、町民・議会の理解と協力が不可欠であります。

妹背牛町における料金収入の見通し



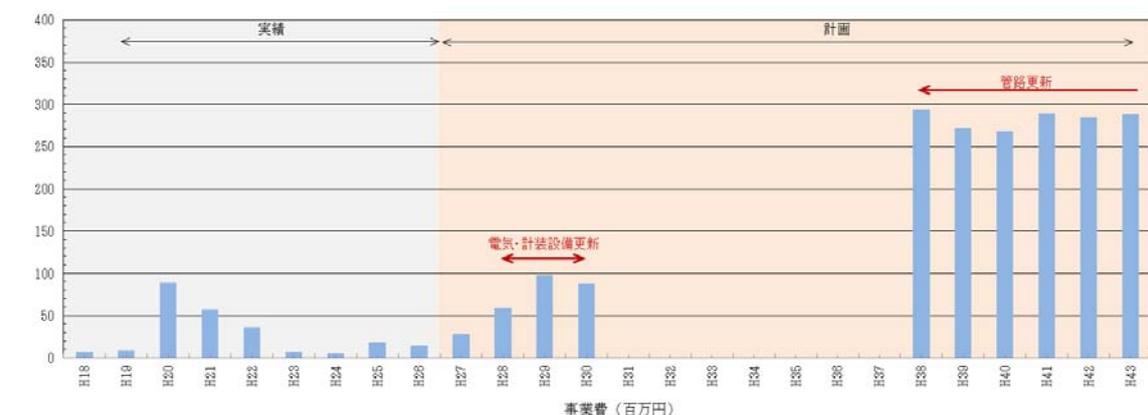
### (4) 施設の見通し

本町の簡易水道事業は、昭和 56 年に北空知広域水道企業団に加わり昭和 59 年より給水を開始、今日に至っています。従って、本町は浄水施設を有せず、主要施設は配水池以降の管路施設と電気・計装設備のみであります。

昭和 57 年から 62 年の 6 か年で集中的整備を行って以来、電気・計装設備は平成 12～14 年に更新済みであり、現在 2 度目の更新中であります。

今後は大部分の管路施設の更新時期を迎えるが、近年は事業実施しておらず、今後 10 年程度は計画的更新を実施する状況にありません。

妹背牛町における施設更新の見通し



### (5) 組織の見通し

本町建設課において、建設課長、主幹等を含む4名体制で簡易水道事業の他に農業集落排水事業、個別排水処理事業および特定地域生活排水処理事業について兼務しながら業務に従事しています。職員給与の予算措置としては簡易水道事業特別会計で技師1名分を計上しています。

平成29年度より業務が集中する集落排水事業対応のため技師1名採用予定ではあるが、これまでと同様に集落排水事業等との兼務体制に変わりありません。従って、今後の簡易水道事業等を含む建設課上下水道グループの組織体制としても兼務による5名体制、1名分を簡易水道事業特別会計に計上するものと予想されます。

### 3. 経営の基本方針

水道施設は、地域の生活と経済・産業を下支えする唯一無二のライフラインであります。

本町の人口減少に伴い、給水人口および水需要量の減少が予想されています。しかしながら、地域を下支えし、安全で安定した水道水を供給し続けるため、北空知広域水道企業団との連携のもと、身の丈に合った料金水準と計画的な維持管理・運営を目指し、経営改善を継続していくことを基本方針とします。



#### 4. 投資・財政計画（収支計画）

（１）投資・財政計画（収支計画）：別紙の通り

（２）投資・財政計画（収支計画）の策定に当たっての説明

##### ①収支計画のうちの投資についての説明

本町は、次のような手順で更新投資計画を策定しました。

- ①現有施設のうち、配水池以降の電気・計装設備については設定更新基準を 20 年として計画的に更新します。
- ②施設の大部分を占める管路の内、φ100mm以上の給水本管は設定更新基準を 60 年として計画的に更新します。
- ③更に、φ75mm以下の配水支管については、人口減少社会に対応し、地域の投資効果（将来人口／配水支管延長 k m）を 3 段階に分けて評価して優先地区より適宜更新することとします。

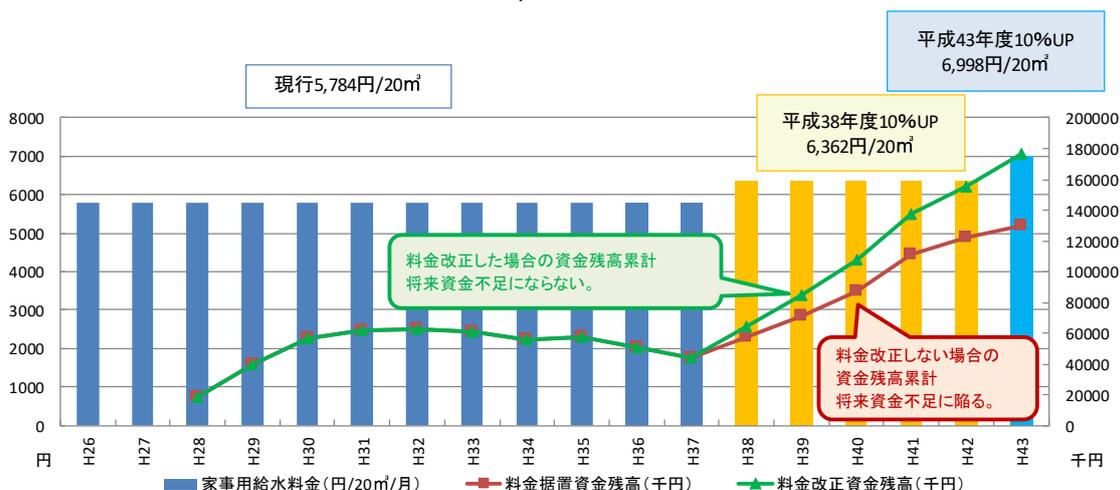
また、本町は創設当初より北空知広域水道企業団に加わっており、更なる広域化等については未検討であります。また、今後の水需要量の減少を見極め本格的な更新開始前に給水本管のダウンサイジングを実施し、更新投資額を再度削減する予定です。

##### ②収支計画のうちの財源についての説明

目 標	<p>今後、更新開始までは水需要量の減少に伴う料金収入の減少、起債の元利償還金の減少に伴う一般会計からの繰入金も減少が予想されています。しかしながら、更新投資開始に当たっては、料金改定などにより収支均衡を図り、経営健全化を目指します。</p>
-----	---

管路施設の更新開始時に料金改定を実施し、値上げ幅は当初 10%を見込みその 5 年後に再度値上げが必要と考えています。更に、更新投資開始後は、適宜、企業債、国庫補助金、繰入金を見込んでいます。

家事用給水料金（円/20 m<sup>3</sup>）と資金残高の見通し



### ③収支計画のうちの財源についての説明

本町簡易水道事業の創設経緯、地形的条件により、これ以上の施設・設備の合理化は困難であります。

また、水道施設維持管理・検針・水質検査業務等を既に民間委託しており、業務執行についても他事業との兼任体制としており人員削減も困難です。職員給与についても1名分計上しているのみです。

更に、本町の事業規模と受水団体であることにより、包括的民間委託、指定管理者制度の導入等の経費削減の取組については困難と考えています。

### (3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

#### ①投資についての検討状況等

民間の資金・ノウハウ等の活用 (PFI・DBOの導入等)	本町水道事業の規模が小さいため、現時点での導入は未検討です。
施設・設備の廃止・統合 (ダウンサイジング)	本町の水道事業は創設当初より北空知広域水道企業団に加わり用水供給を受けており、本町内の施設の統合予定はありません。 ただし、今後、管路施設の更新投資前には配水本管のダウンサイジングを検討する予定です。
施設・設備の合理化 (スペックダウン)	本町の水道事業は創設当初より北空知広域水道企業団に加わり用水供給を受けており、今後の施設の合理化予定はありません。
施設・設備の長寿命化等の 投資の平準化	平成27年度アセットマネジメント業務において更新投資の平準化について検討しました。今回の「経営戦略」策定にあたって再度、更新時期と優先順位の設定等の見直しを実施したところです。
広 域 化	本町の水道事業は創設当初より北空知広域水道企業団に加わり用水供給を受けており、他の広域水道企業団との統合もしくは末端給水への移行については構成市町村とは未協議です。
そ の 他 の 取 組	公営企業会計の移行については未協議です。

## ②財源についての検討状況等

料 金	当面施設の更新予定はないため料金体系等の見直しは不要。ただし、更新開始前には水需要量の見直しを踏まえ、料金体系等の見直しを実施する予定であります。
国庫補助金	水道施設整備費に係る厚生労働省の国庫補助金を活用する予定であります。
企業債	簡易水道事業債、過疎対策事業債を活用する予定であります。
繰入金	簡易水道事業に係る一般会計繰出基準と地方交付税措置を活用する予定であります。
資産の有効活用等による資産増加の取組	本町簡易水道事業における遊休資産はなく、本町の事業規模および平坦な地形から小水力発電等についても未検討。
その他の取組	更新投資開始に当たっては、国庫補助事業の活用や有利な起債借入等財源確保について検討する予定であります。

## ③財源以外の経費についての検討状況等

委託料	簡易水道施設維持管理や検針業務等については、既に民間委託しており、当面更なる民間委託の予定はありません。
修繕費	配水池等の電気・計装設備については平成12～14年に更新済みであり、今後の劣化状況を見極めながら本町の設定更新基準年内に更新予定としている。管路施設についてはまだ老朽化が進行しておらず、これまで8カ所で修繕を実施しているがその内5カ所が給水本管、3カ所が配水支管となっています。従って、給水本管を優先的に更新し、配水支管は、当面、必要に応じて修繕することで対応する予定であります。
動力費	本町は北空知広域水道企業団から用水供給を受けており、動力費に関わる施設を有していません。
職員給与費	本町の給与制度によります。
その他の取組	本町簡易水道事業については、本町HPや広報誌により財政・経営状況を公表し、広く町民との相互理解に努めています。

## 5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	今回、本町の更新投資開始が遅くなることから「経営戦略」計画期間を15年間としました。今後は人口減少や水需要の推移を見極めながら、5年毎に見直しを行う予定です。更新開始後は事後検証を行い、計画期間を10年間に変更した上でPDCAサイクルにより事業の見直し・改善を継続します。
---------------------	--



投資・財政計画  
(収支計画)

(単位:千円、%)

区分	年度	前々年度 (決算)		前年度 (決算) (見込)	本年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	41年度	42年度	43年度
		2017	2018			2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031		
収支再差引	(E)+(J)	3,573	4,519	18,576	20,970	17,263	5,172	880	△ 1,999	△ 4,687	1,508	△ 6,664	△ 7,166	20,843	20,182	23,041	29,808	17,573	21,505	
積立金	(K)			4,519																
前年度からの繰越金	(L)			4,519	23,095	44,065	61,328	66,500	67,380	67,380	65,381	60,694	62,202	55,538	48,372	69,215	89,397	112,438	142,246	159,819
前年度繰上充用金	(M)																			
形式収支	(J)-(K)+(L)-(M)	3,573	4,519	23,095	44,065	61,328	66,500	67,380	67,380	65,381	60,694	62,202	55,538	48,372	69,215	89,397	112,438	142,246	159,819	181,324
翌年度へ繰り越すべき財源	(O)																			
実質収支	字(P)	3,573	4,519	23,095	44,065	61,328	66,500	67,380	67,380	65,381	60,694	62,202	55,538	48,372	69,215	89,397	112,438	142,246	159,819	181,324
(N)-(O)	字(O)																			
赤字比率	(Q) (B)-(C) × 100																			
収益的収支比率	(A) (D)+(H) × 100	93	93	108	110	107	104	96	90	86	80	81	80	89	89	90	94	104	92	98
地方財政法施行令第16条第1項により算定した 資金不足額	(R)																			
営業収益 - 受託工事収益	(B)-(C) (S)	79,416	77,993	77,623	76,508	75,766	75,023	73,909	72,794	72,052	71,680	70,195	69,452	74,756	75,573	73,530	72,713	71,896	78,196	
地方財政法による 資金不足の比率	((R)/(S) × 100)																			
健全化法施行令第16条により算定した 資金不足額	(T)																			
健全化法施行規則第6条に規定する 解消可能資金不足額	(U)																			
健全化法施行令第17条により算定した 事業の規模	(V)																			
健全化法第22条により算定した 資金不足比率	((T)/(V) × 100)																			
他会計借入金残高	(W)																			
地方債残高	(X)	131,817	100,551	118,219	178,235	231,783	224,197	210,299	189,076	164,522	139,869	115,114	90,259	420,121	261,499	579,922	759,912	930,240	1,099,884	

○他会計繰入金

(単位:千円)

区分	年度	前々年度 (決算)		前年度 (決算) (見込)	本年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	41年度	42年度	43年度
		2017	2018			2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031		
収益的収支分		6,624	18,465	4,065	3,655	1,987	1,987	483	465	431	394	2,253	2,952	2,980	3,051	3,116	3,570	3,869	3,806	3,161
うち基準内繰入金		6,013	4,949	4,065	3,655	1,987	1,987	483	465	431	394	2,253	2,952	2,980	3,051	3,116	3,570	3,869	3,806	3,161
うち基準外繰入金		611	13,516																	
資本的収支分		12,328	9,035	11,378	13,213	9,718	2,423	3,688	3,688	5,746	7,607	9,426	10,582	10,730	30,562	29,247	27,869	26,810	23,826	22,851
うち基準内繰入金		10,060	6,736	11,378	13,213	9,718	2,423	3,688	3,688	5,746	7,607	9,426	10,582	10,730	30,562	29,247	27,869	26,810	23,826	22,851
うち基準外繰入金		2,268	2,299																	
合計		18,952	27,500	15,443	16,868	11,705	2,906	4,153	8,001	11,679	13,534	13,710	33,613	32,363	31,439	30,679	27,632	26,012	26,012	